



▲旧消防団第四分団詰所あとの敷地（本郷町）に建てていた火の見やぐら



▲高取公民館ロビーに展示されている「半鐘」



▲現在の消防団第4分団の詰所。今はもう「半鐘」は鳴らすことはなく、サイレンを鳴らす。

## 火の見やぐらの「半鐘」<sup>はんしょう</sup>

かつて、市内の旧消防団詰所の敷地には火の見やぐらが建てられており、その火の見やぐらの上部に取りつけてあったのが、「半鐘」である。「半鐘」とは小型の釣鐘のことで、火災などの発生時に鳴らして、消防団員を招集するとともに、近隣住民に危険を知らせた。「半鐘」の打ち方は決められており、それにより火災の大まかな場所や災害の種類がわかるようになっていた。火災現場のすぐ近くでは、火元であることを知らせるために連打で続けざまに鳴らした(近火信号)。また、出場信号、応援信号、報知信号、鎮火したことを知らせる鎮火信号などがある。

現在高取公民館に展示されている「半鐘」には「高濱町第四部消防組 昭和四年一月」とあり、長い間、地域の住民ために数々の火災、風水害などの災害を知らせてきたことであろうことがうかがえる。しかし、近年、携帯電話の普及や防災行政無線の整備によりその役目を終えた。

防災行政無線は、平成25年4月から運用を開始し、地震、津波や武力攻撃などの災害時に、国からの緊急情報を市内25か所に設置したスピーカーから市民の皆さんに一齐に放送している。

また、地域防災の要として4つの分団の消防団員は、防災活動の先頭に立ち、活動を行っている。ぜひ、仲間になって活動をしてみませんか。

## 「撮っておき」 の たかはま

### 【第 80 回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、有形・無形を問わず、高浜市の日常の暮らしの中にあるとっておきの「お宝」を紹介します。

### 高浜市フェイスブックもご覧ください！！

各種イベントや行政の情報はじめ、まちの話など、『広報たかはま』だけでは紹介しきれない情報を掲載しています。皆さんからのいいね！をお待ちしています。



高浜市フェイスブックページへは、市公式ホームページの『フェイスブックボタン』をクリックしてください。

### 高浜市 Facebook



## LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語は 11 ページ

早期配布にご協力ください。